

# アル・アクサ洪水第623日目：イランがデモナ爆撃を脅迫 | イスラエルは長期戦争を懸念 | ガザの飢饉危機が深刻化

Palestine Chronicle、2025年6月21日、脇浜義明訳



イランのミサイルの直撃により、イスラエルで大規模な被害が発生した。(Photo: via social media)

## 主要事項

\*ガザのパレスチナ抵抗グループ（複数）はいくつかの手の込んだ待ち伏せ攻撃を行い、進入してくるイスラエル兵を死傷させたが、一方イスラエル軍は包囲したガザ回廊の民間人殺害を続けている。

\*イランのミサイルは、イスラエル防空システムを潜り抜けて、ハイファとベエル・シェヴァの重要軍事拠点を攻撃した。

\*ガザのパレスチナ保健省によると、2023年10月7日以降のイスラエルのガザ攻撃で、55,908人のパレスチナ人が死亡し、131,138人が負傷した。その多くが女性と子どもである。

## 最新情報

6月22日 12:18am (パレスチナ時間)

\*イラン共和国放送 (IRIB) : 「真の約束3」作戦の第19波の開始が発表された。革命防衛隊は、被占領地パレスチナ (イスラエル) の南部と北部を標的に多数のドローンを使うと言った。

\*イラン・メディア : ハタム・アル・アンビヤイラン軍中央司令部の報道官は、イスラエルに軍備品を送ることは侵略に直接参加することに等しいと、警告を出した。

6月21日 11:54pm

\* IAEA：国際原子力機関は、イスラエルが開戦以来2度目のエスファハーン核施設への爆撃を行ったことを確認した。

\* イラン・メディア：「真実の約束3」作戦の報道官は、イスラエル民間人に、「そのままいたら死ぬのは確実」だからイスラエルから脱出せよと警告した。

\* イラン・メディア：革命防衛隊は、マザンダラーン州でスパイ用具を持っていたモサド工作員を逮捕したと発表した。タブリーズ市では外国人に接触して機密情報を漏洩したという容疑で別の人物を逮捕した。

**6月21日 11:49 pm**

\* パレスチナ・クロニクル：米国がB-2爆撃機をグアム基地へ移動させ、秘密外交も崩壊する状況下、イランは、戦争がエスカレートすれば、イスラエルのディモナ原子炉と米軍の中東基地を攻撃すると警告した。

**6月21日 11:00 pm**

\* イラン・メディア：アッバス・アラグチ外相は、米国は最初からイスラエルのイラン攻撃に関わっていたと述べた。「米国がイスラエルの侵略に目に見える形で参加すれば、あらゆる面で深刻な結果を招くことになるだろう」と、外相は警告した。彼は、外交交渉はイスラエルが侵略をやめた後でのみ再開できると付言し、「わが国民が爆撃を受けているのに、交渉はできない」と述べた。

\* イラン・メディア：イラン原子力庁の代表は、イスラエルの攻撃に対し、イランの原子力産業の発展は「前より迅速に、前より集中的」になるだろうと言った。

\* CNN：米国防総省の高官はCNNに対して、イラン攻撃のためにB-2爆撃機を配置せよという命令は出ていないと言った。

\* タスニム通信社：バンドル・アッバースの防空システムが敵の爆撃機を撃退している。

\* ポリティコ：米空軍はB-2爆撃機をインド洋に数か月前から配置転換させているが、イランへの差し迫った攻撃を示すものではない。

\* イスラエル軍：軍はイランのドローン・インフラと兵器庫、とりわけバンドル・アッバース市一帯への爆撃を継続している。

**6月21日 9:08 pm**

\* アル・ジャジーラ：イラン高官は、イスラエルの攻撃が激化すればディモナ原子炉をミサイルの標的にするかもしれないと警告した。彼はイランの攻撃は正確だが、敵は損傷を隠蔽していると言った。革命防衛隊はイスラエルの迎撃用ミサイルの備蓄量を念頭に入れて、それを意図的に消耗させていると語った。「米国が直接参戦すれば、戦争は地域戦争となる」と言って、イスラエルより米国基地の方がミサイル攻撃がやり易いと述べた。

\* チャンネル12：トランプが米国を参戦させるという期待がイスラエル当局の間で高まっている。ある高官は「イランが降伏するか、米軍の猛攻撃を受けるかのどちらかだ」と言った。

\* ウォールストリート・ジャーナル：国防総省高官はB-2爆撃機の再配置を認めたが、攻撃命令は出ていないと言った。

\* 「エイヴィエイショニスト」：軍事航空ブログのエイヴィエイショニストはB-2爆撃機飛行隊の2隊が今朝ホワイトマン空軍基地からグアムに向かったと報道。

**6月21日 8:32 pm**

\* イラン政府高官：イラン西部のカスル・エ・シリンの知事代理は、イスラエルの空爆で兵士5人が死亡し、9人が負傷したことを確認した。

\* アクシオス：米国高官の話によると、トランプ大統領がトルコを通じてイランとの交渉を試みたが、失敗した。

\* ファルス通信：イラン当局は、イスラエルと関係するスパイ・ネットワークがインターネット対応のSIMカードを使ってドローンによる殺害作戦を実施していたことを明らかにした。インターネットが使えないときに殺害事件が急減したので、発覚した。

\* カルカリスト：イスラエルの財務委員会は、イラン戦争が続く中、国防予算を36億4200シエケル（約9億7000ドル）増額することを検討するために、23日月曜日に会合を開く。

6月21日 6:27 pm

\*サバ通信社 (イエメンの国営通信社) : アンサールッラの軍事報道官のヤヒヤ・サリーはビデオ声明で、「米国がイスラエルを支援してイランを攻撃したならば、紅海で米国船舶と軍艦への攻撃を再開する。我々は、わが国への敵対行為を含めて、中東地域のあらゆる動きを監視し追跡している。祖国イエメンを守るためにはあらゆる正当に必要な手段を講じる。我々は、シオニストの侵略を受けるアラブ国やイスラム国、あるいは自衛のため、またはガザのレジスタンスを支援するためにシオニストと対峙する国の味方である」と発信した。

\*イラン軍 : 過去24時間でイスラエルへ向けて数十発のドローンを発射し、その多くが標的に命中した。

6月21日 5:59 pm

\*イラン司法局 : ヤドの司法当局は機密場所の情報をイスラエルに提供したモサドのスパイを逮捕した。公開されたスパイの告白では、屋根に上がってイランの防空システムの写真を撮ったという。

\*情報局 : イラン情報局はブシェフル州で、モサド工作員が破壊工作に使用する多数の小型ドローンを押収した。

\*ISNA(イラン学生通信) : マスード・ペゼシュキアン大統領はイスラエルの爆撃で壊された国営放送局を訪れた。「真実を語る声を抑えることはできない」と大統領は視察しながら語った。

\*アル・ジャジーラ : アル・ジャジーラが入手した新しい衛星画像には、6月19日からB-52爆撃機やその他の米軍戦闘機がインド洋の英国領の島ディエゴ・ガルシアにある空軍基地に配置されている。

\*カタール外務省 : カタールの首相兼外務相はイラン外務相と会談してイスラエルの攻撃について協議した。カタールはイスラエルの攻撃は国際法違反だと改めて非難し、外交的手段で緊張緩和することを求めた。

\*スムード (不屈の精神) : ガザはレジスタンスが一瞬たりとも停止しない場所である。この事実だけで、紛争の複雑な世界史で、ガザが最も重要で否定できない事例であることを証明している。ラムジー・バルードの最新論文を読みたい。

([Ramzy Baroud, "Sumoud: The Unyielding Heart of the Palestinian Cause in Gaza", Palestine Chronicle, June 21, 2015](#))

6月21日 4:49 pm

\*パレスチナ・クロニクル : いわゆる西洋「文明」が武器、衛星情報、外交的隠れ蓑をイスラエルに提供、イランに各災害を引き起こし、ガザの子どもを飢えさせている。ジャマル・カンジの最新論文を読みたい。( [Jamal Kanj, "Netanyahu's New Holocaust: From Livestream Genocide in Gaza to the War on Iran", Palestine Chronicle, June 21, 2025](#) )

6月21日 4:27 pm

\*イラン保健省 : 保健副大臣は、イスラエルの戦闘機がイランのケルマンシャー州で3つの病院を爆撃し、6台の救急車を標的とし、医療従事者2名を殺害したと述べた。

\*米国メディア : 今朝、B-2爆撃機隊2隊がミズーリ州ホワイトマン空軍基地からグアムへ向かった。以前イエメンのアンサールッラとの戦争のためにディエゴ・ガルシア島の基地へB-2を展開したのと異なり、今回の展開はもっと広範なインド太平洋における布陣の一環のようである。

\*チャンネル12 : 10万人のイスラエル人が海外で足止め状態になっている。帰国できたのは2万5千人で、運輸大臣が帰国させると宣言した数の半分である。

\*アル・カッサム旅団 : アル・カッサム旅団はイエメン軍参謀総長へのメッセージで、アブドウル・マリク・アル・フーシとイエメン人民の犠牲的精神を称賛し、「歴史はあなた方の勇気を光の文字で記録するだろう・・・あなた方は戦闘と支援の両方でウンマ (イスラム共同体) の最前線にいた」と述べた。

\*西岸地区 : イスラエル占領軍のブルドーザーがトゥールカルムのヌール・シャムス難民キャンプで建物やインフラを解体し続けている。

\*パレスチナ通信会社 : パレスチナの通信プロバイダーはガザ市と北ガザ県で固定インターネットと固定電話が完全に不能となったと発表した。

6月21日 3:24 pm

\*ガザ保健省 : 過去48時間の間に200人の遺体と1,037人の負傷者が病院へ運び込まれた。2023年10月7日以降の犠牲者の数は、死者55,908人、負傷者131,138人となった。

\*イラン・メディア : イラン南西部のフーズスターン州のアフヴァーズ市で多くの爆発音がした。

\*ロイター通信：イスラエル軍は現在進行中の作戦の一環としてイラン南西部の軍事インフラを爆撃すると発表した。

\*アル・ジャジーラ：イランの保健副大臣は、原子炉への攻撃があった場合、放射漏れに対応する態勢を整えていると言った。ケルマンシャー州では3病院が爆撃され、そのうち一つでは完全避難したと付言。報道では、救急車6台が攻撃を受け、医療従事者2人が死亡した。

\*フランス大統領府：フランスのマクロン大統領はイランの大統領に、フランスはヨーロッパとイランの交渉を促進すると述べ、イランの核開発計画が平和的であることを保証するように求めた。

**6月21日 2:09 pm**

\*イスラエル軍：軍は、エスファハーン州の作動準備が整ったドローン発射台2基に昨夜正確な攻撃をしたと、発表した。

\*カタール通信社：湾岸協力会議 (GCC)は、今の緊張状態への懸念とイランの核施設への攻撃は地域に深刻な放射能脅威を与え、国際法違反であるという警告を、IAEAのラファエル・グロッシ事務局長に伝えた。

\*イラン・メディア：エスファハーン州のカシャン市で防空システムが稼働した。

\*イラン通信省：今晚にはインターネット機能が回復するだろう。

\*イスラエル軍：軍報道官は、イランとハマスをつなぎ、10月7日奇襲を計画した人物と言われる革命防衛隊司令官ノサイド・イザディを殺害したことを発表した。さらに、イランの核施設とミサイル発射施設へ深部攻撃を行ったと述べた。戦争開始後イランからイスラエルへむけて発射されたドローンは1,000機以上になると指摘した。

\*イラン学生通信社：イスラエルはイラン南部のシラーズの軍事施設を爆撃し、大きな煙が上がり、かなりの被害が出たと言われている。

\*タイムズ紙：西側のある高官はタイムズ紙に対し、イスラエルは軍事的に能力以上に手を広げすぎたと認識しており、米国に介入、とりわけ地下深くにある核施設攻撃をやってくれと迫っていると、語った。

\*タスニム通信社：イラン当局は、モサドのためにスパイ活動をやり、防空システムに関する機密情報をイスラエルに知らせていた外国人を逮捕した。

\*ハアレツ：戦争は核施設への攻撃とイランによる大規模な報復という2週目に入ったが、終結への明確な時期はまだないと、軍が表明した。

\*ヌール・ニュース：イラン西部のホッラマバードで救急隊員2人がイスラエル無人機の攻撃で死亡した。

\*イラン警察：イラン警察は、テヘラン西部にスパイ工作員が仕掛けたと見られる電子爆弾を解体した。また、ギラン州北部で手榴弾を発見し、押収した。

\*トルコ・メディア：エルドアン大統領は、イランには自衛権があり、ネタニヤフ首相は地域を広範な戦争に駆り立てていると警告し、ネタニヤフをヒトラーに譬えた。大統領は今起きているのを「新たなサイクス・ピコ型地域計画」と呼び、トルコはそれを阻止すると言って、改めてイスラエルの行動に反対するトルコの立場を表明した。

\*アル・ジャジーラ (医療筋を引用)：今朝からのイスラエルの攻撃で、少なくとも26人のパレスチナ人が死亡した。そのうち11人は援助物資配給を待っているときに殺害された。

\*アル・クッズ旅団：我々は、ハーン・ユニス東のアッサナティ地区で樽爆弾を使ってイスラエル軍のD9軍用ブルドーザーを破壊した。

\*パレスチナ・クロニクル：米国連邦判事は、親パレスチナ活動でICE (移民税関捜査局)で3か月間以上拘留されていたコロンビア大学院生マフムード・ハリルの釈放を命じた。

**6月21日 1:00 pm**

\*パレスチナ・クロニクル：イスラエル・メディアによると、今日早朝イランのドローンによるものとされる攻撃でベイト・シェアンで住宅ビルが倒壊し、救急隊が瓦礫に埋まった人々の救出作業を行っている。イスラエル公共放送 (カン)によると、住宅ビルはドローン1発の直撃で大きな被害を被り、イスラエルのラジオは「2階建ての建物が倒壊した」と報じた。

**6月21日 12:45 pm**

\*トルコ・メディア：トルコのエルドアン大統領は二国解決案が中東のあらゆる問題を解決するカギだと述べた。彼は Netanyahu とその「犯罪者団」が外交を拒否していると非難し、イスラエルの侵略に対してイスラムの結束を訴え、沈黙はイスラエルを助長させるだけだと言った。

**6月21日 12:28 pm**

\*トルコ・メディア：トルコのハカン・フィダン外相は、イスラエルはイラン攻撃で地域を全面的災害に引きずり込んでいると記者会見で述べ、国際社会に行動するように呼びかけた。そして、トルコが根本的な解決策を模索していると強調した。

\*イスラエル軍ラジオ放送：ゴラン高原でイランのドローンを迎撃したというニュースに続き、この1時間以内で少なくとも5機のドローンがいくつかの地域で迎撃された。

\*イスラエル民間防衛隊：イランのドローン侵入で、ネゲブの工業地帯とエイラートで警報が鳴った。

\*パレスチナ・クロニクル：トランプ大統領は自制を求める MAGA 派と戦争推進を求めるタカ派の間で板挟みになっている模様。

**6月21日 11:40 am**

\*チャンネル12：ドローン1機の侵入で、ネゲブ南部で警戒レベルが引き上げられた。

\*バグダッドの米国大使館：大使館は米国人にイラクへの渡航を控える勧告を出し、イラク国内では大規模集会を避けるように求めた。

\*カン：ドローン攻撃で Beit She'an で倒壊した住宅の瓦礫の下敷きになっている人々への救出作業が行われている。

\*イスラエル・ハヨム紙：今朝イランから10機のドローンが発射され、アラヴァ渓谷やゴラン高原南部など、いくつかの地域で警報が鳴った。

\*イスラエル・ハヨム紙：Beit She'an の建物のドローン一機が直撃したが、人災はなく、火事が発生した。

\*イラン革命防衛隊：カラジで破壊工作を企んでいた2人を逮捕し、武器と弾薬を押収した。

\*ロイター通信：イスラエル軍高官は、昨晚軍がエスファハーン州にある遠心分離機製造施設2か所を爆撃したと述べた。

\*CNN：イラン高官は、イランは今ミサイル大量発射よりは、重要拠点を狙った高精度ミサイル攻撃を優先していると述べた。

\*アル・ジャジーラ（医療筋を引用）：援助物資を待っているときに殺害された11人を含め、21人が殺害された。ザイトゥーン地区へのイスラエルの攻撃で3人が死亡した。

\*アル・ジャジーラ（医療筋を引用）：ネツァリム回廊付近で援助物資を待っていたパレスチナ人にイスラエル軍が銃撃、5人が死亡し、15人が負傷した。

\*アル・ジャジーラ（医療筋を引用）：イスラエル軍のシュジャイヤ地区のマンスーラ通りへの攻撃で、パレスチナ人3人兄弟が死亡した。

\*アル・ジャジーラ（医療筋を引用）：ラファの援助物資配給センター付近で配給を待つパレスチナ人へイスラエル軍が発砲し、6人が死亡、10人以上が負傷した。

**6月21日 9:18 am**

\*イラン・メディア：イランのコム市へのイスラエルの爆撃で子ども1人と2人の人が死亡した。国営テレビは、今朝、イスラエル軍のコム市のアッサラリヤ地区への空爆を報道した。イラン保健省が今週初めの月曜日に発表した報告によると、イスラエルの空爆による死者数は224人、負傷者数は1,277人で、ほとんどが民間人である。

**6月21日 9:16 am**

\*イエディオト・アハロト：イスラエル軍将校が、イラン・ミサイルが着弾した地域はまるで戦場のようだ、テルアビブの街頭で目撃した破壊状況は地獄だった、と言った。彼は、ラマト・ガンでミサイル攻撃を受けたとき、まるでハーン・ユニスか Beit Ha-Nayon にいるような錯覚に襲われたと言った。

**6月21日 9:14 am**

\*イラン・メディア：イランの国連代表は、国際原子力機関のラファエル・グロッシ事務局長を、彼のイランの核計画に関する偏向的立場について、国連と安保理に正式に提訴したと発表した。前にもイランは、グロッシ事務局長がイスラエルのパートナーであると非難したことがある。

**6月21日 9:12am**

\*アル・ジャジーラ：国連はイスラエルがガザ回廊への燃料輸送を16週間連続阻止していることを確認し、これが破局的結果をもたらすと警告した。ステファン・デュジャリック国連事務総長報道官は記者会見で、イスラエルがガザへの燃料搬入を16週間阻止していると述べた。彼は、国連職員が、18日に、僅かに残っていた燃料をラファのアッタハリール燃料補給所から回収できて、それを南部の公共施設へ輸送し、淡水化プラント、給水車サービス、下水ポンプ場の操業が継続できるようになったと述べた。昨日はその燃料の一部を北部にも輸送したが、全体的燃料不足のため、公共施設の操業時間と能力が低下していると言った。

\*アル・マヤディーン（イランの情報筋を引用）：イラン西部国境から逃亡しようとしていたイスラエル工作員が逮捕された。

**6月21日 7:55am**

\*イラン・メディア：革命防衛隊はベン・グリオン空港といくつかのイスラエル軍拠点を標的にした第18波ミサイル攻撃を行ったと発表。弾道ミサイルとシャヘド136自爆ドローンを使った攻撃だと言った。

**6月21日 7:54am**

\*AP通信：米務省の発表では、イスラエル在住の米国人6,400人以上が避難用航空機に関する情報を求めるオンライン・フォームに記入した。一日につき300~500人を避難させる必要がある。大使館職員とその家族79人はすでに避難させた。

**6月21日 6:01am**

\*イラン・メディア：エスファハーンで爆発音が聞こえ、防空システムが作動した。

**6月21日 6:00am**

\*イラン・メディア：革命防衛隊は、ミサイルとドローンの混合作戦をイスラエルに対して定期的にかつ的確に継続すると発表した。

**6月21日 5:58am**

\*イラン・メディア：コム市の副市長はイスラエルの同市に対する爆撃で若者1人と市民2人が死亡したと発表。

**6月21日 5:56am**

\*イエディオト・アハロト（イスラエル軍高官の言葉を引用）：イランはイスラエルが加えた損傷から立ち直るであろう。防空能力でも立ち直りを見せ、我々はイランの回復を監視している。イランは効果的検知システムを所有し、それを使って対空ミサイルを発射している。

**6月21日 5:54am**

\*イスラエル・メディア：地元筋によると、イスラエル占領軍はシュジャイヤ地区、アットウファーフ地区、ジャバリアに一連の空爆を行った。

**6月21日 5:53am**

\*NBC（イランのアラグチ外相の言葉）：イランと交渉するのかイランを攻撃するのか、決めるのは米国だ。ゼスチャーでなく本気で交渉したいのであれば、我々の交渉中にイスラエルが攻撃をしたのだから、それを止めたはずだ。我々は米国の外交戦術はイスラエルの行動を隠蔽するものだと結論した。我々は自力で核技術を獲得し、自力で破壊されたものを再建できる。我々は現在米政府をまったく信用していない。もともと米政府にはイラン攻撃の計画があって、外交や交渉を隠れ蓑として利用していただけかもしれない。外交への復帰は、イスラエルの侵略が停止し、イスラエルが責任を問われるようになってからだ。イスラエルがわが国の経済施設を攻撃し始めたので、我々もイスラエルの経済施設を攻撃している。いつか外交の道が開かれると思うが、まずはイスラエルの侵略を辞めさせ、米国の役割を明確にすることで、それから判断することである。ウイトコフ特使は良き人物であり、協力できる人物だと思っている。

**6月21日 3:33am**

\*アル・マヤディーン：テヘラン上空とエスファハーン上空でイラン防空システムがイスラエル機の撃墜に成功した。

6月21日 3:31am

\*カン：少し前、イスラエル空軍はイラン中部のミサイル保管庫と発射施設への爆撃を開始した。

6月21日 3:29am

\*パレスチナ・メディア：地元情報によると、少し前イスラエル占領軍機がハーン・ユーニス市を空爆した。

6月21日 3:17am

\*イスラエル・メディア：テルアビブ地区内のホロンの建物にイラン・ミサイルが当たって、大きな火災が発生した。

6月21日 3:16am

\*パレスチナ・メディア：地元情報によれば、イスラエル機がガザ市を数回にわたって爆撃した。

6月21日 3:04am

\*イスラエル・メディア：先ほどイスラエル軍は、イスラエルの広い地域を標的にしたイランのミサイルを検知したと発表。防空システムが迎撃に向かっており、住民にはシェルターに留まるように指示した。各地で警報が鳴った。カンはテルアビブ大都市圏、エルサレム、ハイファ、イスラエル中部、沿岸平野の一部で爆発音が聞こえたと報道した。イエディオト・アハロノトはこのミサイルの波はテルアビブの中心部を狙ったものだと報じた。カンは、一番新しい波はミサイル5発だと報じた。イエディオト・アハロノトはミサイルがテルアビブ大都市圏内の建物に着弾したと報じた。

6月21日 3:01am

\*チャンネル12：ミサイル1発が中部地区に着弾し、マゲン・ダビド・アドム部隊と治安部隊が現場に向かっている。先ほど、イランは約10発の弾道ミサイルを発射した。ミサイルの波はテルアビブに向かっている。

6月21日 2:48am

\*イスラエル・メディア：イスラエル軍は先ほど、イランからイスラエルの広範な地域を標的としたミサイル発射を検知したと発表し、防衛システムが脅威の迎撃に努めていると述べ、イスラエル国民に避難所に留まるよう呼びかけている。国内の複数の地域、特にテルアビブ周辺地域で空襲警報が鳴り響いており、イランのミサイル迎撃の試みが継続中だ。

6月21日 2:46am

\*アル・マヤディーン：今日現在でイラン防空システムはイスラエル無人機を200機撃ち落とした。

6月21日 2:42am

\*アル・ジャジーラ：米国のエリザベス・ウォーレン民主党上院議員は次のように述べた。「ネタニヤフ首相はイラン攻撃で世界の目をガザから引き離そうとしているのかもしれない。ガザの人々は飢え、食物が必要な人々に弾丸が与えられる。」

6月21日 2:40am

\*イスラエル・メディア：数分前、イスラエル軍はイランからイスラエルの広範囲を標的にしたミサイル発射を検知し、防空システムが作動した。

6月21日 2:39am

\*ドイツ・メディア：イスラエルのギデオン・サール外相はドイツ紙ビルトに、「イランの政権交代がイスラエルの目的ではない。これまでわが国の安全保障内閣がイランの政権交代を戦争目的に設定したことはない」と語った。

6月21日 1:04am

\*イラン・メディア：イラン国営TVは、イラン議会の国家安全保障委員会のエブラヒム・アジジ委員長の発言を報道した。委員長は、「イスラエルの攻撃に対するイランの軍事対応の継続の一つとして、昨日23発のミサイルを発射したと言った。ミサイルはすべて標的に命中したという。イスラエルの主要情報機関の施設に命中し、「我々が狙った軍事施設のほとんどを破壊した」と述べた。この声明はイランの報復攻撃の正確さと影響に関して、自信に満ちた自己評価となっている。

\*AP通信：トランプ大統領は、「イランの核施設のすべてを破壊することは不可能で、そんなことをする必要がないのかもしれない」と言った。

\* ホワイトハウス：核兵器に必要な部品をすべて入手すれば、イランは数週間で核兵器を組み立てることができるだろう。

\* アクシオス（外交筋情報として）：外交筋はイランとヨーロッパのジュネーブ会談は予備段階であり、会談参加者は来週にもう一度会合を開くことで同意した。ヨーロッパは会談に先立ち米国と調整を図ったが、トランプ大統領が拒否した。

**6月20日 11:21 pm**

\* CNN（イスラエル高官たちの発言として）：イスラエルは米国の確実な参戦の表明がないまま、戦争に突入した。イスラエルは、早期に軍事的成功を見せれば、トランプ大統領を軍事介入に誘い込めると予測した。ところが、イスラエルの成功率は鈍化し、誤算のリスクが高まった。高官たちは、イスラエルはイランの核施設のすべてを破壊し、破棄させることは出来ないと言った。

\* イェディオト・アハロト：イランは月間10発の長距離弾道ミサイルの製造をし、10年間で11,000発備蓄する計画で、それに合わせてミサイル発射台も製造してきた。イスラエルの攻撃でかなり損傷したが、まだ生産能力と防空能力がかなりある。イスラエルの安全保障関係者は、外交路線がないと長期的な消耗戦になるのではないかと心配している。

\* トランプ米大統領：トランプ大統領は、イランはヨーロッパとではなく米国との交渉を望んでいると強調して、ひよっとすればまもなくイランと話し合いをするかもしれないと言った。彼はイランは数週間で核兵器を所有できると言った。

「今ははっきりしたことは言えない」と言って、「苦しんでいるのはイランであって、私には戦争を止める方法が分からない」と述べた。彼はイスラエルの軍事行動を誉め、イスラエルの空爆を止めるのは困難だと言った。彼は「状況次第」で停戦を実現できるという考えをちらつかせて、イランに「正気に戻る」ための猶予期間として2週間を与えた。

\* チャンネル12：イスラエル軍筋によれば、イスラエルはイランの重要核施設を爆撃する準備があるが、米国の参戦決定を待っている。

\* メフル通信：イラン防空システムがイラン北西部のタブリーズ市上空で複数のイスラエルの小型無人機を迎撃した。

\* チャンネル12：イスラエル軍上級幹部が、イランとの戦争は最初予想したより長引いていると言った。